

## 新年度を迎えて — 新外来オープン —



向って右手前の白壁の建物が新外来棟

平素より病診、病々連携で大変お世話になり誠にありがとうございます。こども病院は毎年少しずつ機能や設備を充実させております。

診療科では今春、耳鼻いんこう科が開院以来初めて常勤医を迎えることができました。橋本亜矢子医師です。これから徐々にではありますが紹介患者の受け入れを増やし、手術も始めてまいります。ご紹介の程よろしく申し上げます。発達小児科は、前任の小林医師が定年後も非常勤で外来を続けていますが、今春溝渕雅巳医師が後任となり、今年冬頃から2診体制で外来を充実していく予定です。

施設面では、昨年度に建設が始まった新外来棟が3月にオープンしました。現在は旧外来棟の改修中で、来年1月にはすべての外来が新装となります。診察室の環境整備のみならず、これまで不足していた患者アメニティーの向上、各種相談業務の利便性、機能性の改善や在宅医療支援強化のための施設整備などを図ります。どうかご期待ください。さらにこの6月には心臓エコー3室、一般エコー2室を有するエコーセンターが完成しました。また、8月からは需要の高いNICUを15床から18床に拡張します。

県民の皆様のご期待に応えるべく、さらなる診療の充実に励みますので、一層のご支援の程よろしくお願い申し上げます。

院長 瀬戸 嗣郎

\*\*\*\*\*

### news 耳鼻いんこう科に常勤医師を配置

今年度から、耳鼻いんこう科に常勤医師を配置しました。これに伴い、週1回の外来診療は週2回に増え、手術・入院診療も常時提供することが可能になりましたので、お知らせいたします。今後ともよろしく願いいたします。

外来診療日: 毎週 月曜日と金曜日の午前中 担当医師: 橋本 亜矢子



# 新 任 部 長 挨 拶

今年度、新たに3人の部長が就任しました。誌面を借りて、皆様に御挨拶申し上げます。

## ◇◇◇ 内科系診療部長 和田 尚弘 ◇◇◇



こんにちは。腎臓内科の和田尚弘と申します。この度内科系診療部長を務めさせて頂くことになりました。1993年にこども病院腎臓内科に赴任し、高橋昌里先生とたった2名で小児腎臓患者診療に関わり、2000年に腎臓内科科長を引き継ぎましたが、振り返るとこども病院着任から22年も経過してしまいました。こども病院の今昔を知り、静岡県内の小児科の先生方を多く知っていることから内科系の診療部長に指名されたと思っております。内科系診療部長は、こども病院内の各科調整の潤滑油役であり、患者に迷惑をかけず、働くスタッフが楽しく仕事ができるような環境をつくるのが第一と考えております。もう一つの役目は、他病院小児科やかかりつけ医との連携であり、そこでも潤滑油として、しっかりと現場の意見に耳を傾け、気軽に相談しあえる関係を目指して行きたいと思っております。専門医制度の変更により、ますます他病院との小児科医との交流が広がります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## ◇◇◇ 外科系診療部長 漆原 直人 ◇◇◇

静岡県立こども病院小児外科の漆原直人です。先生方には多くの患者様をご紹介いただきこの場をおかりしてお礼申し上げます。4月から外科系診療部長を拝命しまして、静岡県の病めるこどもたちのために、微力ではありますが気持ちを新たにごんばっていきたくと思っております。私は昭和63年から3年半の間、静岡県立こども病院で河野、長谷川先生のもとで小児外科の多くのことまた手術のきびしさを教わり、いつかはこのような小児専門病院で働きたいと思っておりました。その後、中四国の病院で外科医として働いていましたが、縁あり平成13年より再度こども病院で小児外科医として働くことになりすでに14年がたちます。その間、ご紹介頂いた新生児・小児の多くの手術を行って参りましたが、そのこどもたちの中には成人となりさらにはお父さん、お母さんになられている方もおられます。このような機会を与えてくださった先生方には本当に感謝しております。当院の特徴は、なんといっても臨床では全国をリードする多くの小児専門医がおり、さらに各診療科の垣根がまったくなく、阿吽の呼吸でこどもの治療が自然と進むことにあると思っております。またそれが全国的に見ても良好な治療成績にもつながっていると感じております。今後はこれまでの多くの経験をもとに、多くの方に信頼される病院として、こどもたちや後輩の育成ために精進してまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## ◇◇◇ 情報管理部長 河村 秀樹 ◇◇◇



本年度から情報管理部長を務めます河村秀樹です。情報管理部は診療情報管理室とITシステム管理室からなり、私が双方の室長を兼ねています。診療情報管理室は診療録の管理を主に行っています。医療者が診療行為の記録を残すのが診療録ですが、保険診療の請求根拠にもなります。医師も看護師もコメディカルの方々も忙しさの中でもすれば記録が疎かになりがちです。それをきちんと書いて頂こうと昨年から診療録の質的点検を始めました。先日の適時調査の反省を基に、請求根拠となるものの確認に力を入れなくてはならないと考えています。ITシステム管理室は情報システムを統括しています。IT技術の進歩は目覚ましく、3年前の技術が陳腐化してしまうほどです。電子カルテも部門システムの進歩で様変わりする可能性があり、積極的に情報を得るよう努力しています。今後求められるものは、医療安全と密接な関係にあるtraceabilityと考えています。可能な限り安価で効率的なシステムを構築できるように努めています。

最後に私自身の紹介を簡単に。私は2004年11月に泌尿器科科長として着任しました。以来2014年3月まで同職を務めました。途中からITシステム管理室々長を拝命し、昨年4月より臨床検査科々長に転じ診療情報管理室々長を兼務しています。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

# 新 外 来 棟 完 成

昨年5月から着手した新外来棟増築工事が今年2月末に完成し、医療器械、什器備品の設置等の準備作業を経て、3月9日(月)から、診療を開始しました。今回、あらためて建物仕様やインテリアデザインの概要を紹介いたします。

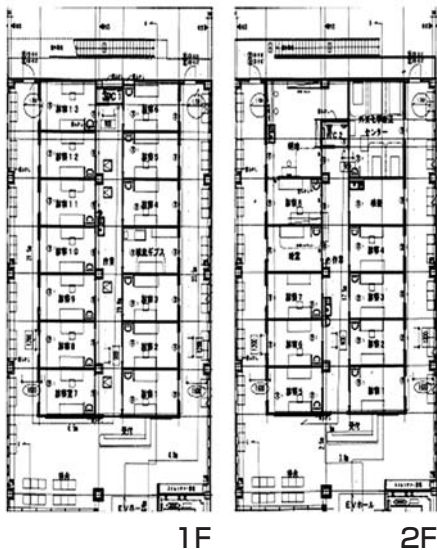
## <機能性の高い建物仕様>

建物は鉄骨造2階建、延面積1,213.9㎡、1階は、診察室12室、検査ギブス室・多目的室を各1室設け、2階は、診察室7室、検査室・外来科学療法センター・面談指導室・明室(眼科)・暗室(眼科)を各1室設けました。各室を壁で区切り、患者プライバシーに配慮。1室当りの面積は13.50㎡を基準とし、従来の11.00㎡の1.2倍の広さになりました。

待合は、ブロック受付前と各診察室前に設け、自然採光を意識して窓に面して配置し、十分な明るさを確保しました。また、受付の背後にはスタッフ通路を設け、患者動線とスタッフ動線が交錯しないよう配慮するとともに、作業の効率化を図るなど機能性の高い配置になっています。



## 新外来棟平面図



## <患者本位のインテリアデザイン>

今回の新外来棟増築を機に既存外来棟を含めて外来全体をエリア分けし、森、空、海などのテーマの基に、それぞれの空間にあわせた配色やイラストを施しました。新外来の1階は海エリアで、診察室の入口扉には、海中を泳ぐイルカや波間に漂うラッコなどのイラストが、2階の空エリアは舞い行く風船などが描かれており、小児専門病院らしさを打ち出したインテリアデザインになっています。

さらに、各診察室内には、スタッフの手作りによるキャラクターデザインも施されており、こどもたちに、少しでも、緊張を和らげてもらおうとするスタッフの思いが伝わってきます。



## 受付背後のスタッフ通路



海エリアのイルカ



空エリアの風船



診察室内の  
手作りキャラ



## 工事担当者の苦労話

当初計画ではH25年度中に完成の予定でしたが、急な建築費の高騰により、設計を一から見直したり、公図との現況不一致により開発許可が下りないなど、実際の工事が始まる前から様々な問題が発生し、着工に漕ぎ着けるまでが一苦労でした。着工後にも調整事項は多々発生しましたが、新外来棟建設に情熱を燃やす瀬戸院長の下、WG委員、外来看護師と協力して、スムーズに問題解決を図ることができ、無事竣工の運びとなりました。

## 組織改正・人事異動情報

### ●診療部・診療科の名称変更

平成27年度の組織改正により、次のとおり、診療部名・診療科名(院内標榜)を見直しました。

医師研修推進室 → 医師研修推進センター 救急総合診療科 → 総合診療科  
(新設・分科) 小児感染症科 (新設・分科) 小児救急科 (新設・分科) 血液凝固科

### ●人事異動

平成27年度の人事異動により、表1のとおり、職員採用・退職・転入・転出がありました。4月1日現在の主要な医師は、表2のとおりです。

表1 職種別人事異動一覧

3/31、4/1現在

職種	退職	転出	採用	転入
医師	9	0	11	0
看護師	12	8	41	7
コメディカル	1	4	7	3
事務	1	6	3	4

表2 役職別主要医師一覧(診療科長以上)

H27.4.1現在

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
院長	瀬戸 嗣郎	血液腫瘍科	渡邊 健一郎	麻酔科	奥山 克己
副院長	小野 安生	血液凝固科	堀越 泰雄*	臨床病理科	堀越 泰雄*
副院長	朴 修三	遺伝染色体科	石切山 敏	発達小児科	山崎 透*
副院長	坂本 喜三郎	内分泌代謝科	上松 あゆ美	こころの診療科	山崎 透*
情報管理部長	河村 秀樹	腎臓内科	和田 尚弘*	<b>【室長】</b>	
内科系診療部長	和田 尚弘	免疫・アレルギー科	木村 光明*	医療安全管理室	小野 安生*
外科系診療部長	漆原 直人	神経科	渡邊 誠司	感染対策室	木村 光明*
こころの診療部長	山崎 透	循環器科	小野 安生*	チーム医療推進室	奥山 克己*
診療支援部長	木村 光明	小児集中治療科	川崎 達也*	地域医療連携室	和田 尚弘*
<b>【センター長】</b>		皮膚科	—	小児がん相談室	渡邊 健一郎*
周産期センター	西口 富三	放射線科	—	臨床研究室	渡邊 健一郎*
新生児センター	田中 靖彦	臨床検査科	河村 秀樹*	治験管理室	田代 弦*
循環器センター	坂本 喜三郎*	小児外科	漆原 直人*	国際交流室	坂本 喜三郎*
小児集中治療センター	川崎 達也	心臓血管外科	坂本 喜三郎*	ボランティア活動支援室	上松 あゆ美*
小児救急センター	唐木 克二	循環器集中治療科	大崎 真樹	診療情報管理室	河村 秀樹*
予防接種センター	木村 光明*	脳神経外科	田代 弦	ITシステム管理室	河村 秀樹*
こころの診療センター	山崎 透*	整形外科	滝川 一晴	輸血管理室	堀越 泰雄*
医師研修推進センター	和田 尚弘*	形成外科	朴 修三*	臨床工学室	大崎 真樹*
<b>【診療科長】</b>		眼科	—	成育支援室	堀越 泰雄*
総合診療科	関根 裕司	耳鼻いんこう科	橋本 亜矢子	リハビリテーション室	滝川 一晴*
小児感染症科	莊司 貴代	泌尿器科	濱野 敦	心理療法室	山崎 透*
小児救急科	唐木 克二*	産科	西口 富三*	栄養管理室	渡邊 誠司*
新生児科	田中 靖彦*	歯科	加藤 光剛		

注：「\*」は兼務を示す。

## ● 読者からの投稿を受け付けています ●

小児医療や当院に関する意見、質問をお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を明記、あて先は、〒420-8660静岡県立こども病院医療サービス課「ひろば読者投稿」係(FAX:054-247-6259、MAIL:kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp)。原則として200字以内でお願いします。